

SHISEI

第72号 2023年7月

一般社団法人 **至誠会第二病院** 〒157-8550 東京都世田谷区上祖師谷5-19-1 TEL: 03-3300-0366(代表) FAX: 03-3307-6731(代表)
編集:地域医療連携室(内線211/395) FAX:03-3307-0013(直通) URL:http://www.shiseikai-daini-hosp.jp/

泌尿器科癌のご紹介

泌尿器科部長 奥田 比佐志



泌尿器科疾患は意外と多岐にわたります。外来患者様で多い疾患は①膀胱炎、前立腺炎、腎盂炎（単純性・結石関連）などの尿路感染症、②腎結石、尿管結石、膀胱結石などの尿路結石症、③前立腺肥大症、過活動膀胱などの排尿障害、そして④泌尿器癌の患者様などです。

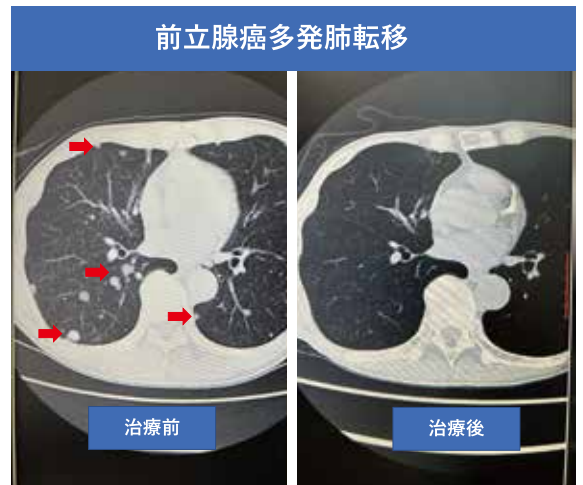
何れの疾患も高齢者社会に伴い増加・高齢化してきている印象です。

今回は、④の泌尿器科が扱う癌についてご紹介させていただきます。当科で診断・治療に当たっている癌は主に前立腺癌、膀胱癌、腎盂尿管癌、腎臓癌、精巣癌です。

【前立腺癌】

米国では2000年に、日本では2020年代に入り男性の癌罹患率 No.1 となっています。前立腺癌の特徴の一つに罹患率は高いけれども死亡率が低いことが挙げられます。つまり前立腺癌になっても亡くなる原因になることは他の癌と比べて少ないと言うことです。その理由はPSAというとても有用な血液腫瘍マーカーがあり早期発見に貢献していること、手術・放射線・薬物という3つの治療の3本柱がいずれもとても治療効果があること、高齢男性に多く比較的ゆっくり進行する癌であること、などが挙げられます。当院での治療は薬物治療が主体となります。放射線治療や手術（ロボット支援腹腔鏡下全摘除術=ロボット手術=ダヴィンチ手術が行われます）は、杏林大学医学部附属病院や東京女子医科大学病院に紹介させていただきます。放射線治療後、手術後、落ち着いたら当科での外来フォローは可能です。

当科での薬物治療（おおよそ80才以上の高齢者、転移のある方、手術や放射線治療に適さない方）の中心はいわゆるホルモン治療になります。ホルモン治療に抵抗性になってしまった場合は抗癌剤治療があり、外来で（初回のみ入院で）可能です。近年、遺伝子パネル検査（杏林に依頼）を行い、適した患者様は（多くはありませんが）対応する新薬を保険診療で使うことも可能になってきております。



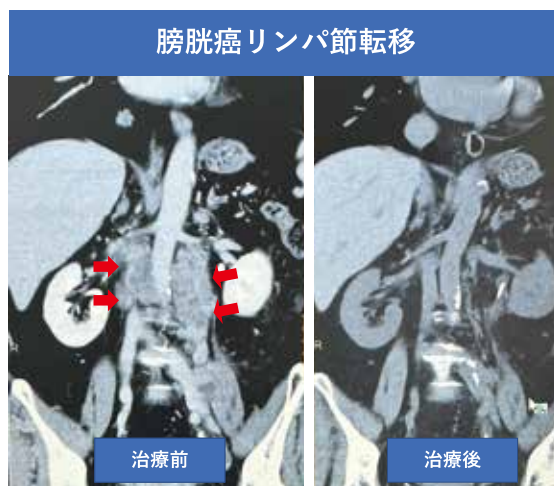
基本理念 「至誠と愛」の心を持って、医療を誠実に行之、地域、社会に貢献いたします

- 基本方針**
1. 全職員のチームワークにより、患者さま中心の医療を提供いたします。
 2. 安全で質の高い医療を提供いたします。
 3. 地域医療への貢献と連携の推進を行います。
 4. 医療の進展に沿うべく絶えず努力をいたします。
 5. 情報を開示し、医療の透明性に努めます。
 6. 健全で安定した医業経営に努めます。



【膀胱癌】

膀胱癌も日本において増加している癌の一つです。男性はたばこ、女性は髪の毛の染料（白髪染め）などが原因になることがあります。喫煙する人が近年減ってきておりますがこの先 20 年程、膀胱癌は増えるだろうと言われております。膀胱癌治療は前立腺癌以上に様々な治療があります。手術、放射線、薬物という 3 本柱は同じですが、手術は膀胱内視鏡手術で腫瘍のみを切除する、膀胱を全摘除術する・部分切除するなどがあります。当院では全摘除術はやはりロボット手術なので大学病院へ紹介致します。膀胱内視鏡手術（TUR-BT）は当院で多数行っております。当科で一番多く行っている手術が TUR-BT です。放射線治療も大学病院へ紹介させて頂きますが、薬物治療は多岐にわたり当院でも行っております。膀胱内に薬剤を注入する膀胱内注入療法（膀注）を行うことがあり、主に使われるのが結核のワクチンである BCG です。通常の抗癌剤を膀注することもあります。さらに抗癌剤を全身投与することは通常ですが、動脈から投与する方法などもあります。近年抗癌剤も免疫チェックポイント阻害薬という新しい種類の薬剤が多数出てきて治療選択がかなり増えてきております。そして従来緩和治療（Best supportive care）にならざるを得なかった患者様にも選択肢が増えております。そして癌生存率の向上など、治療成績も上がってきており、今後外来化学療法なされる患者様がさらに増えることが予想されております。



【腎盂尿管癌】

膀胱癌ほどでは無いですが患者様は増加しております。治療はほぼ膀胱癌と同様です。やはり抗癌剤化学療法を受ける患者様が増えており、外来で施行可能です。

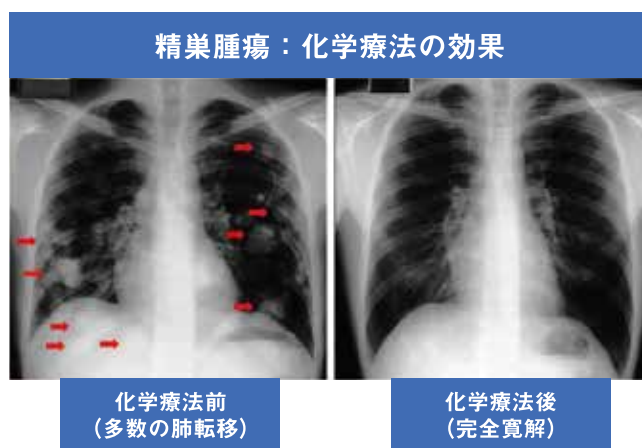
【腎臓癌】

当院のような中規模の一般病院では腎臓癌患者様は多いとは言えませんが、年間 5 ～ 9 名ほどです。手術はやはりロボット手術＝ダヴィンチ手術が主体ですので大学病院へ紹介致します。前立腺癌、膀胱癌ほどは多くはありませんが、やはり抗癌剤治療の適応の患者様は当院で施行可能です。上述の免疫チェックポイント阻害薬は腎臓癌で最も多くの種類が保険適応となっており、様々なレジメが施行されており奏効率も年々改善しており、今後患者様がが増えていくことが予想されます。

【精巣癌】

20 ～ 30 代の比較的若い男性に多く発生して進行が早いことで有名です。本疾患は乳癌と共にセルフチェック出来る数少ない癌です。つまり乳癌も精巣癌も自ら「触れる」ことが出来る癌です。通常は無痛性で精巣に増大する「しこり」として自覚します。

治療の基本は手術（精巣摘除術＝当院で施行できます）と進行性の場合には抗癌剤です。患側の精巣を摘除して、転移がある場合は抗癌剤治療を行います。精巣癌は転移があっても抗癌剤で完治できる可能性が最も高い癌です。しかし、この精巣癌の抗癌剤治療



は吐き気、骨髄抑制（白血球減少）などの副作用が強くなりますので通常、外来治療は難しくほぼ全ての場合入院して行います。BEP 療法というレジメで行い、リンパ節のみの転移であれば 3～4 コース行い、95%以上の治癒率です。上述のように若い患者様が多いのでほとんどの場合治療を頑張って頂き、完遂出来ており治癒へもっていくことができます。

以上、泌尿器科で担当する癌疾患を簡単に説明・紹介致しました。多くの疾患で手術は技術の進歩でロボット手術=ダヴィンチ手術になってきておりますが、一方薬物治療も進歩してきており、（放射線治療も進歩していくので）将来は手術をする比率は減ってくるだろうという予想があります。様々な薬剤が今後も開発されて抗癌剤治療の需要が増えていくものと思われます。当科でも増えていく対象患者様に適切な化学療法を施行していく体制をさらに整えていく所存です。対象と思われる患者様がいらっしゃいましたらお気軽にご相談下さい。

■ プロフィール ■

おくだ ひさし
奥田 比佐志

1987年 山形大学医学部卒
東京女子医科大学腎臓病総合医療センター入局
2005年 至誠会第二病院 泌尿器科勤務
日本泌尿器科学会専門医・指導医
専門：泌尿器科癌全般
趣味：宇宙関連の知識を漁ること、美術館巡り

みんなの栄養学

～夏のむくみ対策～



栄養管理室 飯塚 祐子

そろそろ梅雨明け、夏本番…冷房を使い始めた方も多いのではないのでしょうか？

この時季は、冷たい飲み物や食べ物を口にする機会も増え、水分を「出す」ことが滞り、むくみやすい季節です。放っておくと身体が疲れやすくなったり、夏バテなどの不調につながるがあります。

そこで、今回は「水分代謝を高める = 水はけのよい体づくり」についてご紹介します！

【カリウムが大切】

汗をかいたときに、ナトリウムと一緒に失われるカリウム。カリウムは過剰な塩分を体外に排出し、滞った代謝を促進することでむくみの解消に働きます。そして 夏野菜には多くのカリウムが含まれています。旬の食材を積極的に摂り入れることは、皆さんの身体にとっても良くオススメです！



トマト



きゅうり



なす



南瓜

【体を冷やさない】

生姜、ねぎ、にんにくは体を温め、発汗を促す働きを助けてくれる食材です。冷たい料理には、たっぷりの薬味で身体を冷やさない工夫をしてみましょう。薬味やスパイスなどを上手に使うと、塩分も控えられ、味が引き締まり、美味しく食べることができます。



長ねぎ



冷奴+生姜

身体を温めるには、血流促進効果があるシナモンや生姜を飲み物に入れるのも効果的です。ぜひ試してみてくださいね♪



皆さん初めまして。W-3病棟の力丸文佳と申します。病棟での勤務は育休を含め9年目となります。現在、W-3病棟で力を入れている活動をご紹介します。

コロナの感染症が懸念される時代、家族との面会も制限されるようになり、一緒に過ごす時間も減っていくなか、私たちが患者様に寄り添った看護が今まで以上に重要な位置づけになると感じています。そのような環境下で、特に“がんと告知された時から始まる”緩和ケアについて関心を持つようになりました。緩和ケアとは、がんと診断された患者様が身体的症状の緩和や精神的な問題などの負担軽減に努めていくケアです。

実際、患者様の多くは「むくみが辛い」「とにかく痛い」「眠れない」というような悩みを抱えています。私の身内にもがんと患った者がおりました。むくんで太くなった足を触り「この足が辛いんだよなあ・・・」とよく言っていたことが思い出されます。これらの体験を通し、今年「リンパ浮腫専門看護師」という浮腫に関する資格を取得しました。この資格は、様々な浮腫で悩む患者様の苦痛を軽減するという目的があります。

緩和ケアを必要とする患者様に、よりよい看護を提供していくため、スタッフ一人一人が緩和ケアについて興味・関心を持てるよう、外部研修への参加と病棟でのカンファレンスに力を入れています。

また昨年より、W-3病棟では緩和ケアワーキンググループという活動を開始、佐藤拓也先生（緩和ケア研修修了医師）のもと週に一度、緩和ケアの質の向上を目標とし、知識を深め、毎日の看護に取り組んでいます。今後もW-3病棟を宜しくお願いします。



後方左より、真野友花、泉澤世奈、関根佐斗子、力丸文佳（筆者）、宮戸穂沙
前列左より、井上満里絵、益田裕斗、岸本大輝

◆診療科

- 内 科
- 呼吸器内科
- 消化器内科
- 循環器内科
- 神経内科
- 糖尿病内科
- 外 科
- 整形外科
- 人工関節センター（整形外科）
- 足の外科センター（整形外科）
- 泌尿器科
- 眼 科
- 脳神経外科
- 産 婦 人 科
- 放射線科
- 麻酔科（ペインクリニック）

月初めご来院時には
保険証の確認をさせて
いただいております。

病院専用バス時刻表

- 土曜日は午前中のみ運行します。
- 日曜祭日は休診につき運休です。
- 印は土曜日の最終便です。

H30.4.1付

時間	京王線 仙川駅	
	病院 発	仙川駅 発
8時	20 40	3 30 45
9時	5 25 45	15 35 55
10時	5 25 45	15 35 55
11時	5 25 45	15 35 55
12時	5 25 45	15 35 55
13時	5 (25) 45	(15) 35 55
14時	5 25 45	15 35 55
15時	5 25 45	15 35 55
16時	5 25 45	15 35

時間	小田急線 成城学園前駅	
	病院 発	成城学園前駅 発
8時	20	0 35
9時	10 40	20 50
10時	10 40	20 50
11時	10 40	20 50
12時	10 40	20 50
13時	10 (40)	(20) 50
14時	10 40	20 50
15時	10 40	20 50
16時	10 40	20

